

## DXみやぎ5原則

### 1 マイナンバーカードをできる限り活用! (eKYCの活用)

eKYCとは、electronic Know Your Customer の略で、デジタルデバイスを使って、オンラインで本人確認を行う仕組みです。マイナンバーカードを用いたeKYCを積極的に活用します。

### 2 多くの力を集める!

多様なサービス提供者の参入と競争により、ユーザーが便利さと快適さを実感できるDXを目指します。

### 3 縦割りではなく、できる限り部局横断・区市町村横断で施策を展開!

### 4 関心のある全ての県民がDXを感じられるような施策を!

△「役所への手続きが簡単になった」だけでなく  
○「県のDX施策で生活が変わった」「必要な情報が直接届くようになった」と、県民の皆さんに感じていただけるDXを目指します。

### 5 アジャイル型で施策を展開!

アジャイル型とは、「素早い」「俊敏な」という意味で、短時間で開発と検証を繰り返し、リスクを最小化する開発手法です。その時点で最良のものをリリースできるよう、アジャイル型でDXを進めます。

# DXで「みやぎ」が変わる! 後編

前編はこちら

みやぎ県政だより令和5年5・6月号では、DXについての説明や、県の方針を詳しく紹介しています。



DXとは

「デジタル・トランスフォーメーション」の略称で、デジタル技術を活用し、生活をより良いものへと大きく「変革」する取り組み

県は、「みやぎ情報化推進ポリシー」に基づき、県民サービスの向上、地域の課題解決・活力創出、働き方改革に取り組んでいます。

今後はこれに加え、DXの成果がより直接的に県民の皆さんに届くよう、「DXみやぎ5原則」を掲げ、必要な方に必要な情報を届ける「能動的県政」を目指していきます。

### みやぎ情報化推進ポリシーとは?

県の情報化政策の基本方針で、下記の3つを重点目標に掲げ、誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向け、さまざまな取り組みを行っています。



### 主な取り組み

#### D for Citizen

#### AIマッチングによる結婚支援「みやマリ」

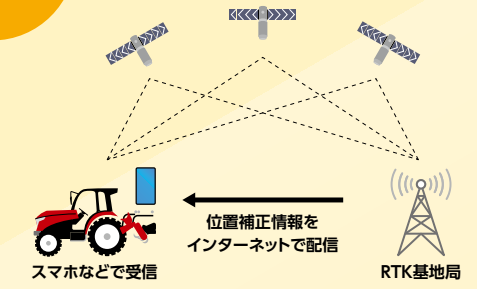


希望条件でのお相手検索に加え、価値観診断テストの結果を基に、AIが自動でお相手を紹介する結婚支援を行っています。



#### D for Local

#### RTKシステムの活用



トラクターや田植機、ドローンなど農業機械の高精度な自動操縦を可能とするRTK基地局を県内7カ所に整備しています。

#### D for Business

#### 生成AIやノーコードツールなどの活用

オンライン会議やテレワークなどの環境整備に加え、生成AI<sup>\*1</sup>やノーコードツール<sup>\*2</sup>といった新しい技術を活用して行政運営の効率化を進め、県民サービスの充実を図ります。

※1…学習データに基づきテキスト・画像・動画などを生成するAI  
※2…プログラミング言語を使用することなくアプリケーションなどを構築できるサービス

### 能動的県政の実現に向けて…

## 「デジタル身分証アプリ」でDXを推進!

これまでの取り組みに加え、**確実に「特定の人」と「随時」「必要な情報のやりとり」が可能**なアプリを活用して、防災分野をはじめ、さまざまなサービスを提供していきます。

### アプリの基本機能

1 ユーザー情報	マイナンバーカードの公的個人認証サービスにより常時最新の情報に更新可能
2 二次元コード読み取り	避難所受付や地域ポイント利用などの際に使用
3 ミニアプリ	ユーザーの属性に応じてさまざまなサービスが利用可能
4 プッシュ通知受信	ミニアプリからのお知らせを受信



### ミニアプリ例(実証中)

ミニアプリを活用すると  
どんどん便利に!

#### 防災(原子力災害+自然災害)

避難先をお伝えするプッシュ通知や、二次元コードの読み取りでの避難所チェックインなどにより、避難行動を効率化します。

※原子力防災ミニアプリは、女川町から実装を開始しており、今後段階的に運用範囲を拡大します。



#### 地域ポイント

特定の地域・店舗などで利用可能なポイントを住民に付与し、商店街などの地域経済活性化に役立てます。

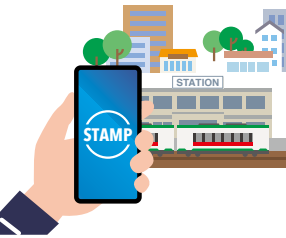
【実証地域】石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、女川町、南三陸町



#### スタンプラリー(観光)

二次元コードの読み取りによる周遊スタンプラリーで、取得スタンプ数に応じて景品が当たるキャンペーンを実施しています。

【実証地域】JR陸羽東線(宮城県内)



#### インフラ異常箇所通報

道路などインフラ施設の損傷・異常箇所をスマートフォンで撮影し、県に通報するアプリで、迅速な対応に役立てます。

【実証地域】宮城県内全域



### このほかにもミニアプリが登場予定

これらのほかにも、県民の皆さんが気軽に県政に参加できる「アンケート」ミニアプリなど、県民サービスの向上に向けたミニアプリの検討を進めています。今後のデジタル身分証アプリの動向にご注目ください。

問 デジタルみやぎ推進課 ☎022(211)2481



## DXを推進している企業をご紹介します



株式会社グリーンディー  
代表取締役 浜出 理加 さん

地方においても女性がクリエイティブに働ける環境を目指し、平成29年5月に会社を設立。東北の素材などを活用したアロマ製品の企画・製造販売を仙台と石巻の2拠点で行っている。

令和4年度に県の人材育成講習を受講。会社のDXを進め、今年8月の県のセミナーではパネリストとして登壇。

### DX推進のきっかけは？

会社を設立してしばらくは、売上げが急速に伸びる中、目先の業務に必死で営業や製造の仕組みを整えている時間がありませんでした。資材や商品の在庫は目視で確認していたため、コントロールができず、在庫のデータ化が急務でした。また、業務の属人化や業務量の偏りも課題で、社員が増えたと一から業務を教える必要があり、仕事が回らないといったことも生じていました。

事業を拡大していく中で、これまでのやり方を変える必要があると感じたのがきっかけです。

### 導入に当たって意識したこと

会社として何をどう改善したいのか、そのために何が必要なのかを明確にしました。そこから、すぐできることと長期でやることを分け、優先順位をつけて取り組みました。県の講習は、こうした方針を決める上で考え方のヒントとして参考にしました。「DXを導入しよう」というよりは、「自分たちが何をしたいのか」や「より便利なものを使おう」という意識で取り組んでいました。

### どんなことを行ったか

始めに、すでに導入していた販売管理ソフトの活用を見直しました。CSVデータ一括取り込みや、出力データの活用で入力作業が効率化され、取引先や商品別分析などの業務量を大幅に削減できました。

また、社員や店舗間でバラバラであった情報共有ツールを一本化しました。新しいツールは、情報共有

だけでなく、プログラミングなしで簡単に業務アプリを作れるため、デジタル部門がない自社でも活用できると考え、導入を決めました。

パソコンスキルがない社員でもスマートフォンで使えるアプリを作成したり、販売管理ソフトと連携させたりすることで、さらに事務作業が効率化し、社員がクリエイティブに働く環境に近づけたと感じています。



誰でも分かりやすいアプリのトップ画面

### 導入して良かったこと

製造側の社員も運営側の社員も、デジタルに詳しい社員もそうでない社員も、全員が一体となって業務を改善できたことが一番良かったです。話し合いを重ねていく中で、現場の声を聞くことの大切さを感じました。

また、2拠点間でのコミュニケーションも増え、会社全体の雰囲気も変わってきたなと思います。ミーティングの際に、現場社員の意見がどんどん出てくるようになったのもうれしい変化でした。業務の効率化にとどまらず、さまざまな場面で良い変化を感じています。

### 今後の展望

地方に住んでいたり、ライフステージが変わったりする女性が、キャリアを諦めずにリモートワークなどいろいろな働き方ができる会社にするのが目標です。そういった仕組みを支える一つの手段として、今後も会社のDXに取り組んでいきたいです。

# DXで「みやぎ」の企業も変わる! ~ 企業のDXを支援します ~

県が本年度実施した県内中小企業などのデジタル化・DXに関するアンケート調査によると、6割が「あまり進んでいない」「進んでいない」と回答しています。

また、デジタル化を進める上での課題としては、「人材・知識・ノウハウ」「予算」「パートナー」「組織・体制」が挙がっており、「デジタル人材育成のサポート」や「デジタル化による生産性向上などの事例紹介」といった支援が求められています。

県は、中小企業のデジタル化・DXを支援するため、さまざまな取り組みを行っており、今回は、代表的な2つの取り組みをご紹介します。

会社のデジタル化を進めたいけど何から始めればいいんだろう…?



社内にデジタル化を進める組織がない…



### 企業のDXに向けた機運醸成のため…

#### 先行事例の紹介で、DXのハードルを低く!

デジタル化・DXの成功には、経営者の関与と社員の意識向上が重要です。

そこで県は、先行事例紹介のセミナーを通じて、成功に向けた情報提供を行っています。

今年8月に開催した経営者向けセミナーでは、先駆的な実績を持つ企業の代表者やデジタル化の専門家に、デジタル化・DXを進める際の成功体験や実践的なアドバイスをお話いただきました。

県ホームページでは、これまでのアーカイブを公開しています。また、県内企業の取り組み事例も紹介していますので、ぜひご覧ください。



セミナーのアーカイブはこちら



事例紹介はこちら



### デジタル人材確保に向けて…

#### 総合型のプログラムを実施!

デジタル化を進めたくても、進め方が分からずためらってしまう企業や、デジタル人材の確保に悩む企業が見られます。

そこで県は、こうした企業に向け、経営課題の整理からデジタルツールの活用方法、デジタルリテラシーの向上、デジタル化の具体的手法まで、幅広い知識とスキルを提供するプログラムを実施しています。

本年度は、意欲ある20社が参加しています(本年度の募集は終了)。



これらの取り組みにより、県は中小企業のデジタル化・DXの進展をサポートし、地域経済の発展を目指します。詳しくは、県のホームページをご覧ください。

ホームページはこちら



産業デジタル推進課 ☎022(211)2478